

体育館サッカー

サッカーの知識が無くていきなり千代の団長を受けまして子供達の応援に行きましたが、コーチが何を言ってるか分かりません。他の親御さんに聞いても同様でしたので、これはルール覚えて応援したらもっと楽しいと思えて'84年に豊川小、千代小の体育館にて夜練習を続けて、1年後に女子サッカー大会（千代ピンクレディー杯）を豊川小にて開催しました。

10チームもの参加で千代の優勝で盛り上がりました。その1年後に父親の大会も開催され現在も続いています。ピンクは'85年に第2回家庭婦人サッカー大会に初出場初優勝して県リーグで活躍しています（当時はしゅークラブも活躍中でした）。体育館には色々な人達が来てくれました。帝京出身で競輪で活躍中の小門選手、Jリーガーになった平塚次郎、磯崎敬太、数馬正浩君、現在中学3年の横浜マユース平石直人君、エスポルチ（ロンドリーナの前身）の広山君の所に行ってる小門勇太（関東トレセン）小峰綾君と大勢の人達が遊びに来てくれました。

気が付いたらフットサルと言う室内サッカーが始まって、今年から“Fリーグ”が小田原アリーナで始まり、湘南ベルマーレフットサルクラブのホーム会場になりました。大人気に（アリーナには50チームが登録してるそうです）なってるのに小田原では夜のサッカーは体育館（夜間開放）では使用禁止に'05年からなってます。

これを機会に又使用出来ます様、行政にお願い致します。

協会事務局長 柏木 功

奈良国体で優勝

山本 富士雄

高校3年生の時奈良国体で優勝しました。当時も今も県西地区はサッカー後進地域で選抜選手に選ばれていたのは私だけでした。何故私が選抜選手に選ばれたのか…今考えると小、中、高校とサッカーの指導を受けず、自由な発想と常に思考する習慣が身についていたからだと思います。高校での練習はつまらなく（パターン化されたもの）、むしろ練習後にチームメイトとするミニゲームが一番の練習になっていました。自分のキャリアはそのおかげで、彼らにはとても感謝しています。ありがとうございます。

どんな環境でも、どんなチームでも、取り組み次第で自分を高めることができる…私が小田原で学んだ一番のことです。子供達には、よい環境を求めるのではなく、自分で環境を模索、創造することを大切にして欲しいです。小田原がサッカーの町になり、小田原からたくさんの日本代表が出てくることを祈っています。